



名大トピックス

No.118 平成15年3月31日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

平成15年度入学試験が実施される



特集

平成14年度 定年退官教授のことば(7 ~ 32頁)

CONTENTS

第15回タンデトロン加速器質量分析計シンポジウムを開催.....	2	名古屋大学語学研修を終了.....	6
博物館が第21回特別講演会を開催.....	3	特集 平成14年度定年退官教授のことば.....	7
ベンチャーセミナー by 名古屋大学を開催.....	4	本学関係の新聞記事掲載一覧(15年2月分).....	33
農学国際教育協力研究センターが2002年度第10回 オープンセミナーを開催.....	5		

ちよっと名大史

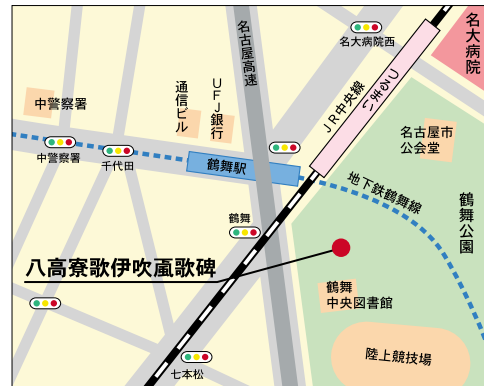
おろし 八高寮歌伊吹嵐歌碑

「伊吹おろし」は、名古屋大学の包括校（旧教養部の前身校）にあたる第八高等学校（八高）の寮歌で、1916年に作られました。八高寮歌は「伊吹おろし」以外にも数多くあり、「伊吹おろし」が作られる前でもすでに5曲ありました。この年はじめて八高の寮歌集を作成することとなり、新たな寮歌を寮内だけではなく校内へも掲示公募して採用された3曲の一つが「伊吹おろし」です。「伊吹おろし」が八高寮歌の代表歌となったのは、この寮歌集が刊行され、広く一般に流布したことと関係あるのではないかと思います。作詞は中山久氏、作曲は三橋要次郎氏（八高第8回卒業）で、全国の寮歌の中でももっとも優美で、ロマンチックな寮歌といわれているそうです。八高生にかぎらず、当時名古屋の中学生や女高生にも歌われていました。現在の名古屋大学でも、体育会を中心に歌いつがれています。

歌碑は、1958年に八高創立五十周年を記念し、鶴舞公園内の鶴舞図書館前に建設されました。鶴舞公園が選ばれたのは、旧市街から八高へ行く途中にあって八高生が通学の際必ずここを通過していったからです。

歌碑の敷石は岡山県北木島産の白御影石、台座石は福島県浮金村産の黒御影石（浮金石）、碑面は岡山県万成山産の紅御影石（万成石）という、赤白黒の三色を調和させてすっきりつくられています。これは八高の清潔な校風を示しているといわれています。また碑には楽譜が刻まれており、これは曲碑といって当時としては極めて少ない珍しい碑でしたが、永く青少年に歌いつがれることを願って、このような歌碑にしたそうです。

碑の設計は浜田稔氏（当時東京大学教授、八高第12回卒業）が、建設事務はおもに浜島敏雄氏（当時愛知県建築部長、八高第20回卒業）が担当しました。なお碑陰には6月1日と刻まれています。これは五十周年記念祭が行われた日であり、実際の除幕式は9月に行われています。



名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.119 平成15年4月18日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TeX(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

平成14年度 卒業式が挙行される ～ 高度専門職業人としての自覚を持って ～



CONTENTS

平成14年度卒業式～総長の辞(大学院・学部).....	2	大学史資料室がワークショップを開催.....	16
男女共同参画室を設置.....	13	工学部・工学研究科広報ビデオ完成.....	17
文学研究科が公開シンポジウムを開催.....	13	工学研究科・関連研究科・センター研究者総覧完成.....	17
太陽地球環境研究所が「社会連携連絡協議会」を設置.....	14	本学関係の新聞記事掲載一覧(15年3月分).....	18
博物館が「毛利フォーフェラントコレクション」寄贈に対して 感謝状贈呈.....	15		

ちよっと名大史

医学部附属病院分院（東新町時代）

現在、本学の医学部附属病院は分院組織を持っていませんが、1949年5月の新制名古屋大学設置以降、1996年までは医学部附属病院分院が設けられていました。その前身は、1943年5月に陸田志よう氏から寄付を受けた市内中区新栄町三丁目（現在の中区栄四丁目）にあった陸田ビルの敷地・建物を使用した名古屋帝国大学医学部附属医院分室でした。その後この分室は、翌1944年5月に正式に医学部附属医院分院としての設置が認められています。

なお、附属医院（病院）分院の所在地は、設置当初の 市内中区新栄町三丁目（現在の中区栄四丁目）から、1961年には 市内東区東門前町二丁目（現在の東区東桜二丁目）へ、また1979年には 市内東区大幸一丁目（現在の東区大幸南一丁目にある大幸医療センター）へと移転しています（下図参照）。『名古屋大学医学部附属病院分院記念誌』（1997年）では、それぞれを 東新町時代、 東門前町時代、 大幸町時代と呼んでいます。

写真は、東新町時代（分院開院当時）の建物風景および陸田ビル（分院）の石膏模型です。この分院は、993m²の敷地に5階建て鉄筋コンクリート（延べ3781m²）の建物で、当初から11の診療科（内科・外科・整形外科・眼科・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚泌尿器科・神経精神科・放射線科・歯科）が置かれて臨床実習ならびに一般診療を行っていました。



名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.120 平成15年5月30日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

平成15年度入学式が挙行される



CONTENTS

平成15年度入学式が挙行される.....	2	ヤングリーダーズ・プログラム面接の旅.....	23
総長の辞（大学院入学式）.....	3	農学国際教育協力研究センターが2002年度第11回 オープンセミナーを開催.....	25
総長の辞（学部入学式）.....	8	第6回名古屋大学博物館特別展 「失われた文化財—アフガニスタンバミヤン展」を開催...	26
平成15年度附属中・高等学校の入学式が挙行される.....	13	附属図書館で2003年春季特別展を開催.....	27
ノーベル化学賞受賞者に名誉博士称号を授与.....	14	附属図書館にサテライトラボがオープン.....	28
ノーベル化学賞受賞者国際フォーラムを開催.....	16	永年勤続者表彰式及び退職者懇談会が開催される.....	29
名古屋大学全学同窓会関東支部を設立.....	17	新任部局長等の紹介.....	30
間宮文部科学審議官が本学を訪問.....	18	総長等表敬訪問一覧（平成15年1月～3月）.....	34
平成15年度全学教育科目担当教官へのFD研修.....	19	本学ホームページがリニューアル.....	35
太陽地球環境研究所「陸別観測所」に昇格.....	20		
国際経済動態研究センターがシンポジウムを開催.....	21		
環境学研究科が環境講座「環境問題への挑戦」を開講.....	22		

ちよっと 名大史

鬱金桜（うこんさくら）

本学博物館（旧古川図書館）の西角に一本の桜があります。それは、ソメイヨシノの開花より遅く4月下旬～5月上旬に薄黄緑色で八重咲きの花をつける「うこんさくら」です。

「うこんさくら」は、漢字では本来「鬱金桜」と書きます。「鬱金」とは漢方薬や染料などに使われる植物の名前で、鬱金が使われた染料色である鮮黄色を鬱金色と呼びます。この桜の花も鬱金色をしているところから鬱金桜と名がついたそうです。

一方、昔から「右近の橘、左近の桜」といわれています。これは、植える桜の品種に関係なく、宮殿（天皇の座る場所）の中から正面南の方を見て、左の位置に桜を植えることを意味します。ところが、天皇に拝謁する（すなわち南から北へ宮殿を見る）側からこれを見ると、桜は右の位置にあることになります。こうしたことから、この位置の意味（「左近の桜」が右に見えること）や「鬱金桜」という品種名が混同されて、位置関係の意味での「右近の桜」と誤用されたり、また品種名「鬱金桜」に本来とは逆位置を意味する「右近桜」の漢字を宛てたりするようになったようです。しかし、品種上は「鬱金桜」、位置関係では「左近の桜」というのが本来の意味です。

ところで、本学にある鬱金桜の植樹時期・経緯については、当時の附属図書館職員の杉山直明氏（1967年度退職）が個人的に植えたものであるともいわれていますが、正確なことは不明です。学内資料的には、1967・8年頃に撮影された写真にその幼木と思われるものが写っており、それ以前の写真にはまだ写っていないことを確認できるのみです。



昭和43年概要

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.121 平成15年6月30日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>


大学院情報科学研究科の入学式が行われる



特集

新名誉教授のことば(11～18頁)

CONTENTS

大学院情報科学研究科入学式及び看板上掲式が行われる.....	2	鳥脇名誉教授が文部科学大臣賞を受賞.....	10
高等研究院創設一周年記念式典・講演会・祝賀会が行われる...	3	特集 新名誉教授のことば.....	11
名誉教授称号授与式・懇談会を開催.....	4	本学で東海地区国立学校等初任職員研修を開催.....	19
附属農場に併設された「農業館」の銘板上掲式が行われる.....	5	今年度の学校見学が始まる.....	20
		平成15年度における教育研究施設の充実.....	21
		[INFORMATION]	
 金融システム再生への細く険しい道を求めて		「日本数学コンクール」開催.....	24
家森信善.....	6	名古屋大学数学公開講座「数学アゴラ」開催.....	24
上出太陽地球環境研究所所長が英国王立天文学士院賞を受賞.....	8	本学関係の新聞記事掲載一覧(15年4月・5月分).....	25
博物館が特別講演(第22回・第23回)を開催.....	9	平成14年度職員創作美術展 作品紹介.....	29
平成15年春の叙勲・褒章受章者決まる.....	10		

学内も鮮やかな緑いっぱい彩られる時期になりました。とくに東山キャンパスに緑が多いのは、建設当時はこのあたりがまだ名古屋市街地から郊外にあたる山の中であったことと、これに着目した澁澤元治初代総長が提唱した「緑の学園」構想によるところが大きいものと思われます。この「緑の学園」に寄与している中に、学内に植樹されたさまざまな記念樹があります。そのなかで今回は農学部第一回卒業記念樹をご紹介します。

農学部の創立は1951年です。名古屋大学九学部のうち、1949年の新制大学設置より後に創立された唯一の学部です（1993年創立の情報文化学部は旧教養部に源泉をもっています）。しかも名古屋から遠く安城に学部キャンパスが造られました。当時は理・工学部以外の学部は東山キャンパスにありませんでしたが、それでも名古屋市内にあり、農学部だけが名古屋市外にありました。このため農学部関係者はいろいろな不自由さを感じて生活していました。第一回卒業記念樹は、1955年にこの旧安城キャンパスに植えられました。樹種はメタセコイアです。

そして1966年農学部の東山移転とともに、現在の地に移植され、今に至っています。移転に際し、記念樹も一緒に移植するのは珍しくはないのですが、そのなかでもこの第一回卒業記念樹が選ばれたのは、学部創立や安城生活に対する農学部のさまざまな思いを後世にも伝えようとしたのではないかと思います。またそれが樹であることも、いかにも農学部という気がします。この樹は『名古屋農学部三十年史』や『名古屋大学五十年史 部局史二』に掲載されたほか、一昨年刊行された『名古屋大学農学部五十年史』では、その葉のデザインとなっています。ある意味農学部が一番古い歴史・伝統を伝える象徴的な記念物と思われます。



現在のメタセコイア



現在の記念碑



植樹当時の幼木（安城キャンパス）



東山キャンパス



50周年記念誌の葉

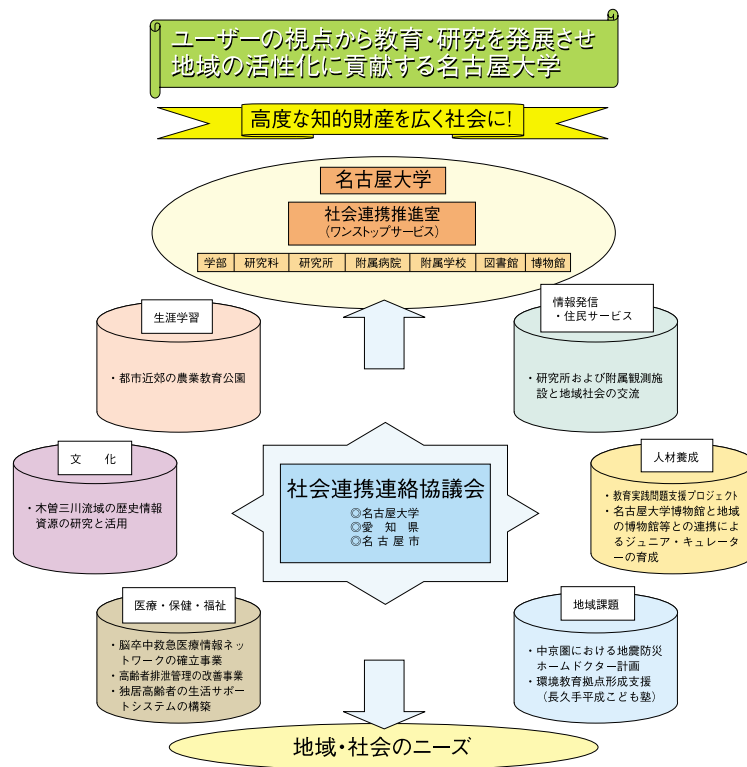
名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.122 平成15年7月31日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016
ホームページ URL http://www.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学の社会連携の取り組み (地域貢献特別支援事業)



(名古屋大学地域貢献事業全体図)

CONTENTS

・地域貢献特別支援事業を更に充実.....	2	・博物館が第4回ネイチャーウォッチングを実施する.....	14
・第44回名大祭「夢空間」が開催される.....	3	・第4回エコツアー(スタンプラリー)が行われる.....	15
・生物機能開発利用研究センターの銘板上掲式が行われる.....	4	・太陽地球環境研究所が一般公開・講演会を実施する.....	16
・SARS 緊急対策ガイドラインに関する全学説明会が開催される...	5	・太陽地球環境研究所が「理科はおもしろい」シンポジウムを開催する.....	17
・「第2回産学官連携推進会議」が開催される.....	6	・附属農場が農業館を利用して連続講演会(第1回・第2回)を開催する.....	18
・大学院生命農学研究科が学術交流協定を締結する.....	7	・大学院生命農学研究科が消防訓練を行う.....	20
・中期目標・計画・評価に関する職員説明会(第1回)が開催される.....	8	・構内環境美化運動「キャンパスクリーンウィーク」が実施される.....	21
・第99回国立10大学理学部長会議が開催される.....	9	・地下鉄「砂田橋-名古屋大学」間が今年12月13日に開業...	21
・医学部組織工学(日立メディコ)寄附講座の創設記念式典等が開催される.....	10	[INFORMATION]	
・(財)武田科学振興財団研究奨励金の贈呈が行われる.....	11	・ 本学関係の新聞記事掲載一覧(15年6月分).....	22



・電子密度分布に見る化学結合の普遍性
森永正彦..... 12

ちよっと名大史

名高商梅檀（センダン）と樟（クスノキ）

本学経済学部第1講義室に通じる屋外階段に向かって右側（西側）の少し離れた場所に1本の大きな樟があります。約40年前、その場所に樟はありませんでした。1964（昭和39）年、そこには酒井正三郎（正兵衛）経済学部教授の退官を記念して、1本の梅檀の樹が移植されました。酒井正三郎は、1925（大正14）年に本学経済学部の前身校である名高商（名古屋高等商業学校）の教官となり、その後1964年3月に退官するまで経済学部教官として本学に貢献しました。その間、初代法経学部長（名高商の後身校である名古屋経済専門学校長を兼任）ならびに初代経済学部長を歴任しています。

退官記念樹の梅檀は、もとは名高商（現在の名古屋市立大学医学部）の玄関付近にあったものですが、名高商時代から名大経済学部時代を歩んだ酒井正三郎の足跡と重なりつつ経済学部の歴史を見守る樹として移植されたのでした。残念なことに、その梅檀は、大学紛争時の学生間の騒動で傷つけられ、その後立ち枯れてしまいました。

一方、現存する樟は、当時を知る人の話によると、梅檀の移植後にその西側に植えられたもので、梅檀と樟が並んで立っていたとのこと。梅檀が存在しない現在、樟はその役目を引き継ぐかのごとく、新緑に萌えています。



酒井正三郎名誉教授（1965年頃）



現在の樟（左横にあるのが屋外階段）



梅檀と樟（「経済学部卒業アルバム」1969年度）
左端に梅檀（右奥）と樟（左手前）が写っている



東山キャンパス

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp）へご連絡下さい。




名大トピックス

No.123 平成15年8月29日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

運営諮問会議（第3回会合）が開催される



CONTENTS

・第 期名古屋大学運営諮問会議(第3回会合)が開催される... 2	・附属図書館が特別企画「七夕飾り」を実施する..... 15
・平成15年度「21世紀 COE プログラム」 に6件が採択される..... 3	・附属図書館が国立大学図書館協議会賞受賞記念講演会及び 祝賀会を開催する..... 16
・「大学知的財産本部整備事業」に採択される..... 4	・教育学部の授業で学生が開発した作品が教材 WEB ページ コンテストで金賞を受賞する..... 17
・文部科学省主催「スーパーサイエンスハイスクール」(SSH) 事業に協力..... 5	
・第42回国立七大学総合体育大会開会式が開催される..... 6	
・法政国際教育協力研究センターが創立1周年記念講演会 を開催する..... 7	
・大学院医学系研究科附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター の開設記念シンポジウムが開催される..... 8	
・大学院国際言語文化研究科がメディアプロフェッショナル論 講座開設記念シンポジウムを開催する..... 9	
・名大病院・関連病院卒後臨床研修ネットワーク総会 が開催される..... 10	
・工学部懇話会が開催される..... 11	
・農学国際教育協力研究センターが第1回オープンセミナー を開催する..... 12	
・太陽地球環境研究所が国際学会に研究発信ブースを出展... 13	
・博物館が特別講演会「アフガニスタンと名古屋大学」 を開催する..... 14	
	 ・宇宙をサブミリ波で見る 福井康雄..... 18
	・本学と名古屋市消防局が共同で放射線防護基礎講習 を開催する..... 20
	・留学生交流研究協議会(中部・近畿地区)が開催される... 21
	・愛知県地区国立学校等新任係長研修が開催される..... 22
	・グループウェア関係(パソコン利用者)講習会が 開催される..... 23
	[INFORMATION]
	・総長選考日程..... 24
	・テクノ・フェア名大'2003'の開催のお知らせ..... 25
	・平成15年度名古屋大学職員創作美術展作品募集について... 26
	・本学関係の新聞記事掲載一覧(15年7月分)..... 27

郁達夫は、1896年中国浙江省富陽県の生まれで、魯迅・郭沫若らにつぐ中国近代文学の代表的な作家です。1913年に来日、1915年名古屋大学の前身校である第八高等学校第三部（医科）に入学しました。翌年第一部（文科）に転部し、1919年に八高を卒業しています。

1921年に刊行された処女小説『沈淪』は、郁達夫八高時代の自伝的小説です。当時の中国人留学生の孤独や抑圧された性を素直に表現しており、中国の近代文学で性的問題を真正面に取り上げた最初の商品として評価されています。また、熱田神宮・鶴舞公園など名古屋の名所が随所に描かれており、当時の名古屋の様子もうかがい知ることができます。

1922年に東京帝国大学経済学部を卒業後に日本を離れ、中国へ帰国後は北京大学・広州大学等で教えるとともに創作活動を行いました。1936年11月に再来日し、志賀直哉・井伏鱒二・大宅壮一・林芙美子・横光利一など当時の日本文壇の著名人とも交流しています。日中戦争が始まった当初は、郭沫若らとともに抗日運動に参加しましたが、1938年にはシンガポールへ移って新聞編集や日本軍憲兵の通訳をしました。1945年の敗戦直後、日本軍憲兵に殺害されてしまいました。戦前日本の誤った時代の犠牲者の一人といえます。

郁達夫文学碑は第八高等学校の同窓会である「八高会」により、八高創立90周年を記念して建てられたもので、題字は横山秀吉氏（八高第16回卒業）で、彫塑は石田武至氏、碑文は大池青岑氏、石は中国浙江省廈門産の御影石です。1998年6月30日に除幕式が行われました。



郁達夫



郁達夫文学碑



八高創立90周年記念「郁達夫文学碑」除幕式



東山キャンパス

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.124 平成15年9月30日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

名古屋大学説明会が開催される



CONTENTS

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学説明会を九州、東海(学内)、関東、近畿の4地区で開催する..... 2 ・祝! 本学が第42回国立七大学総合体育大会で3度目の総合優勝... 4 ・松尾総長と平尾誠二郎ラグビーワールドカップ日本代表前監督が対談する..... 6 ・大学院多元数理科学研究科が大談話会を開催する..... 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・附属農場が農業館を利用して連続講演会(第3回)を開催する..... 14 ・工学部が工学概論第1「がんばれ後輩!」を開講する..... 15 ・年代測定総合研究センターが大学 Jr. サイエンス「石がいつできたか調べよう」を開催する..... 16 ・工学部がテクノフロンティアセミナーを開催する..... 17 ・工学部がテクノサイエンスセミナーを開催する..... 18 ・国家公務員 種試験第一次合格者への職務内容等説明会が開催される..... 19 |
| <p>[INFORMATION]</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・第14回日本数学コンクール及び第7回日本ジュニア数学コンクールが開催される..... 10 ・大学院多元数理科学研究科が数学公開講座「数学アゴラ」を開催する..... 11 ・博物館が「名古屋大学シルクロード調査会」を立ち上げる... 12 ・博物館が特別講演会・コンサートを開催する..... 13 | <ul style="list-style-type: none"> ・人事院勧告が出される..... 20 ・「伊藤圭介生誕200年記念展示会・講演会」開催のお知らせ..... 23 ・本学関係の新聞記事掲載一覧(15年8月分)..... 24 ・名古屋大学広報用マークのデザインについて..... 26 |



・ソフトマターの物理学

土井 正男

8

伊藤圭介胸像および「伊藤圭介先生誕生之地」碑

名古屋を代表する世界的な著名人として「文においては伊藤圭介、武においては豊臣秀吉」ともいわれる伊藤圭介は、享和3(1803)年1月名古屋呉服町(現名古屋市中区丸の内3丁目10番)の医者之家に生まれました。植物学に興味をいだき、文政9(1826)年2月宮(現熱田区)で、江戸に赴く途中のシーボルトに、植物の学名の点検を依頼したのを機に、翌年長崎に赴き、シーボルトの下で植物学を学びました。「泰西本草名疏」を訳述刊行したほか、多数著書を出しています。また医者としても尾張藩で種痘を始めるなど、この地域の医療に尽しました。

明治政府から大学に出仕するよう命じられ、明治3(1870)年11月に名古屋を離れ上京、明治14(1881)年東京大学教授に任ぜられ、同21(1888)年日本初の理学博士の学位を受けました。明治34(1901)年に逝去しています(享年99歳)。

伊藤は上京する直前、名古屋藩に西洋医学の病院と学校をつくるよう建議し、これが現在の名古屋大学の前身となる仮医学校・仮病院の設置となりました。いわば名古屋大学の生みの親といえます。このほか仮医学校・仮病院の後身校となった愛知医学校の教諭奈良坂源一郎による愛知教育博物館建設にも寄与しています。

第3代名古屋大学総長勝沼精蔵は伊藤の顕彰に努め、彼の強い要請によって昭和30(1955)年に、遺族から「錦築植物図説」ほか遺品188冊が附属図書館へ寄贈されています(伊藤圭介文庫)。また同じ頃伊藤圭介座像(鶴舞中央図書館前)や「伊藤圭介先生誕生之地」碑(上述生誕地、写真右)が、勝沼の組織した伊藤圭介顕彰会によって建てられています。そのほか東山植物園(写真中)や地元小学校に胸像、平和公園に碑など、名古屋市内各地に記念碑像があります。



伊藤圭介



伊藤圭介胸像



「伊藤圭介先生誕生之地」碑

本文の記念碑については、伊藤圭介生誕200年記念展示会(p22参照)において詳しい展示がありますので、ぜひ一度ご来館下さい。

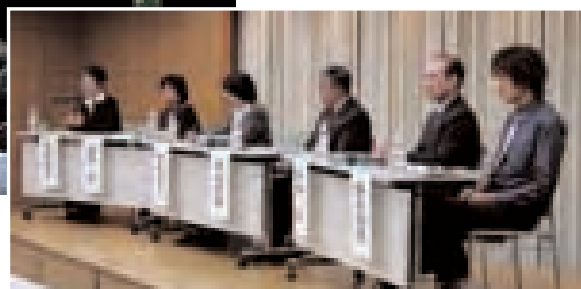
名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室(052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)へご連絡下さい。




名大トピックス

No.125 平成15年10月31日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

名古屋大学男女共同参画社会推進シンポジウムが開催される



CONTENTS

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度「特色ある大学教育支援プログラム」に採択される..... 2 ・名古屋大学男女共同参画社会推進シンポジウムが開催される... 4 ・大学院留学生特別コース学位記授与式を挙げる..... 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・附属農場が農業館を利用して連続講演会（第4回）を開催する..... 11 ・遺伝子実験施設が「Jr.サイエンス教室 遺伝子を見てみよう」を開催する..... 12 ・総長等表敬訪問一覧（平成15年4月～9月）..... 12 ・東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員合同研修（電気・電子コース）が開催される..... 13 ・平成15年度職員体育大会が開催される..... 14 ・新任部長等の紹介..... 15 |
| <ul style="list-style-type: none">  <ul style="list-style-type: none"> ・動脈硬化性疾患の病態解明と創薬
貝淵 弘三..... 6 ・株式会社半導体理工学研究センターへの感謝状贈呈式が行われる..... 8 ・大学院生命農学研究科がシンポジウムを開催する..... 9 ・博物館が第27回特別講演会と第9回コンサートを開催する... 10 ・環境学研究科学生が理事を務める NPO 法人が
防災功労者担当大臣表彰（団体の部）を受賞..... 11 | <ul style="list-style-type: none"> [INFORMATION] ・名古屋大学学内展覧会 strange x familiar
（ストレンジ×ファミリア）..... 16 ・本学関係の新聞記事掲載一覧（15年9月分）..... 17 |

1945（昭和20）年4月に創立された岡崎高師（岡崎高等師範学校）は、その4ヵ月後に岡崎市空襲で校舎を焼失、その後同年12月に岡崎市から豊川市への移転、1949年度には新制名古屋大学への包括を経て、1951年度末に閉校となり7年間の校史に幕を閉じました。

現在、大学史資料室には岡崎高師の徽章（帽章）が保管されています。同校同窓会（黎明会）の加藤貞夫氏の寄贈によるものです。一般に、徽章はステータス・シンボルとして、在校生・卒業生の所属感・連帯感などを生み出すものとされていますが、岡崎高師の徽章は「高師」という文字を桜の小枝で囲んだデザインとなっています。岡崎公園が桜の名所であることから、「岡崎」を表すものとして桜が使われたと考えられています。

帽章は、創立間もない頃は物資が極端に欠乏していた敗戦前後の時期であったため、黒布にデザインを印刷したものが使われていました（写真1）。その後、時期は不詳ですが、厚手の台布にデザインが刺繍された帽章が登場しました（写真2）。さらにその後、帽章はようやく真鍮製のものになりました（写真3）。しかし、長髪学生の増加に伴い学生帽の着用が減少したため、この帽章も次第に使われなくなったようです。

ちなみに本学では、名古屋大学学章取扱要項（1998年制定）により、通称「NU（エヌ・ユー）マーク」（図1）が公式学章とされ、公的印刷物などの各種用途に使用されています。



写真1

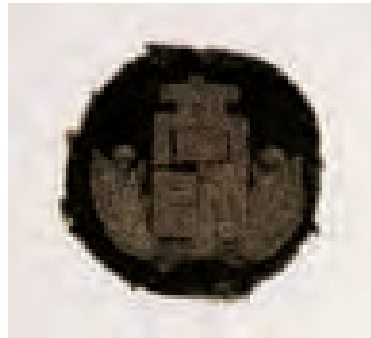
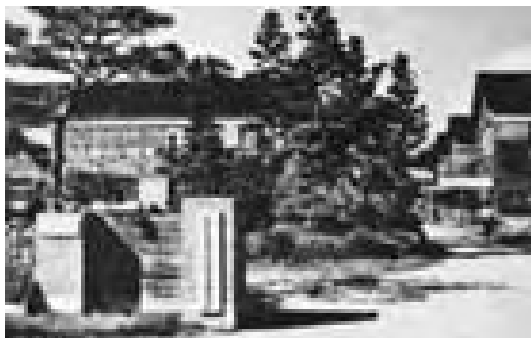


写真2



写真3



岡崎高等師範学校正門



図1

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.126 平成15年11月28日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

名古屋大学全学同窓会第2回総会及び講演会等が開催される



評議員会（議長：太田副会長）




講演会



総会であいさつをする豊田会長

CONTENTS

・名古屋大学全学同窓会第2回総会及び講演会等が開催される... 2	・医学部が解剖甲慰祭を挙げる..... 16
・第11回名古屋大学科学研究オープンシンポジウム が主催される..... 6	・博物館が第28回講演会「フーフェラントを超えて」 を開催する..... 16
・大学院留学生特別コース及び医学系研究科医療行政コース 入学式を挙げる..... 8	・太陽地球環境研究所がコミック冊子（日本語版・英語版） を発行する..... 17
・第1回国際学術コンソーシアム(AC21)運営委員会が開催される... 9	・附属農場が農業ふれあい教室及び連続講演会（第5回） を開催する..... 17
 1分子運動 / 反応のナノ観察から生細胞の膜機能システムを解く 楠見 明弘..... 10	・第42回国立七大学総合体育大会総合優勝祝勝会を開催する... 18
・大学院医学系研究科医療行政コース「ヤング・リーダーズ・ プログラム」開講記念講演会を開催する..... 12	・附属図書館で留学生用図書贈呈式が行われる..... 19
・オープンカレッジ「自由奔放！サイエンス」が開講される... 13	・平成15年度愛知地区国立学校等退職準備セミナー が開催される..... 19
・第1回名大 ERC・キタン会名古屋ビジネスセミナー を開催する..... 14	・平成15年度名古屋大学職員創作美術展が開催される..... 20
・平成15年度第2回全学教育科目担当教官 FD が 開催される..... 15	・平成15年秋の叙勲受章者決まる..... 20
・平成15年度医学部医学科公開講座を開催する..... 15	[INFORMATION]
	・名古屋大学医工連携シンポジウム..... 21
	・本学関係の新聞記事掲載一覧（15年10月分）..... 22
	・地下鉄開通記念 第10回名古屋大学博物館コンサート..... 25

其湛(きたん)塔と創統(そうとう)の鐘

本連載第2回で取り上げたように、1920(大正9)年に創立された名古屋高等商業学校(名高商)は、本学経済学部の前身校にあたります。名高商が第1回入学生を迎えたのは翌1921年のことでした。写真の時鐘は、その第1回卒業生が卒業記念として母校に寄贈した其湛塔の塔頂に掛けられたもので、その銘文から「創統の鐘」と呼ばれています。「其湛」および「創統」の意味については、『其湛』の二字は校長渡辺龍聖閣下の撰ばれし所にして無辺際(むへんがい)の進展を意味し、・・・『創統』の二字は我等が撰びて以つて我等が把持せる創造的精神の具象たらしめしものとされています。

創統の鐘を頂く其湛塔は、高さ約18メートルの鉄骨製の塔で、1924年6月に竣工しました。其湛塔は戦時中の鉄材供出のために取り壊されて現存しませんが、創統の鐘は幸いにもその難を免れました。創統の鐘は、其湛精神の象徴としての音色が重視され鋳物作りの本場である小田原で作成されたもので、全砲金の鋳物で西洋風の瀟洒な形をしています。現在、創統の鐘は本学経済学研究科で保管されています。

なお、其湛塔と創統の鐘が竣工する1ヶ月前の1924年5月には、母校と卒業生とを結ぶ同窓組織としての旧「其湛会」発会式が行われています。同会は、現在の経済学部同窓会である社団法人キタン会の前身組織の一つとなっています。



「創統」の鐘



其湛塔(名高商1927年アルバムより)



名高商校舎外観(名高商1926年アルバムより)

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室(052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)へご連絡下さい。



名大トピックス

No.127 平成15年12月26日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>


次期本学総長候補者に 平野眞一工学研究科教授が選出される



松尾 稔総長の任期満了（平成16年3月31日）に伴い、11月25日（火）に開催された臨時評議会において、総長の選考に関する暫定基準第14条第2項に基づき、第3次総長候補者名簿に登載された3名の候補者について、その選考の経緯等を審議した後、評議員による単記無記名による投票を行った結果、平野眞一教授が、第1回目の投票で出席者の過半数を得ました。引き続き開催された選考会議で、評議会からの選考経緯の報告を基に、審議した結果、委員の総意により、平野眞一工学研究科教授を次期総長候補者に決定しました。

なお、新総長の任期は、平成16年4月1日から平成21年3月31日までの5年間となります。

CONTENTS

- | | |
|--|--|
| ・次期本学総長候補者に平野眞一工学研究科教授が選出される... 1 | ・第19回シンポジウム「東アジア産業ダイナミズムと企業の再生」が開催される..... 9 |
| ・テクノ・フェア名大'2003'が開催される..... 2 | ・大学院経済学研究科が江蘇省社会科学院と学术交流協定を締結する..... 10 |
|  ・素粒子標準理論の検証に関する日欧国際共同研究 丹羽 公雄..... 4 | ・博物館が中学生の職場体験学習を受け入れる..... 10 |
| ・大学院経済学研究科がマーリーズ教授(1996年ノーベル賞受賞)による講演会を開催する..... 6 | ・博物館が秋の野外実習「ドングリを知ろう」を実施する... 11 |
| ・附属図書館が秋季特別展を開催する..... 7 | ・附属農場が農業館を利用して連続講演会(第6回)を開催する... 11 |
| ・地震防災訓練が実施される..... 8 | ・永年勤続者表彰式が開催される..... 12 |
| ・大学院生命農学研究科がシンボルマークを制定する..... 8 | [INFORMATION] |
| ・大学院多元数理科学研究科が第3回名古屋国際数学コンファレンスを開催する..... 9 | ・博物館企画展「野外観察園の植物たち」..... 13 |
| | ・本学関係の新聞記事掲載一覧(15年11月分)..... 14 |

ちょっと名大史

旧名城キャンパス文学部三号館 (明治村旧歩兵第六聯隊第十中隊兵舎)

戦前の名古屋帝国大学には文系学部がありませんでしたが、敗戦直後から文・法・経済の文系三学部を新設しようという動きがおこりました。1947年10月に帝国大学の名称がなくなり、名古屋大学(旧制)になると、この文系学部の設置が具体的に検討されるようになりました。そこで文系学部のキャンパス予定地として、名古屋城二の丸内にあった旧歩兵第六聯隊兵舎を取得(名城キャンパス) 1948年6月にまずは大学本部事務局が移転しています。

文系学部設置には紆余曲折がありました。結局同年9月に文学部と法経学部が設置され(ともに旧制、法経学部は1950年3月に法学部と経済学部に分離) 翌1949年4月には教育学部(新制)も新設されました。このうち、旧名古屋高等商業学校を母体とする法経学部経済・経営学科を除いた、文学部、教育学部、法経学部法律・政治学科が名城キャンパスにつくられました。このキャンパスはその後、1963年に東山キャンパスへ移転終了するまで使用されました。

1965年に名城キャンパスにあった旧校舎のうち文学部三号館だけが、博物館明治村(愛知県犬山市内山1)へ移築されました。この建物には二階に東洋史・西洋史・国史(日本史) 一階に地理・考古・独文・英文の各研究室などが入っていました。ただ、明治村に現存のものは、明治期の建物名である旧歩兵第六聯隊兵舎の名称となっています。また明治村へ移築の時に建物が縮小されており、さらに建物の色も灰色であったのが、現存では鮮やかな白となっています。文学部三号館の面影ではなく、それより以前の旧歩兵第六聯隊兵舎の趣きで改装されて残されたのは、「明治」村である以上しかたありませんが、名古屋大学にとってはちょっと残念な気がしますね。



旧名城キャンパス全景
(数字号館は文学部建物、1959年)



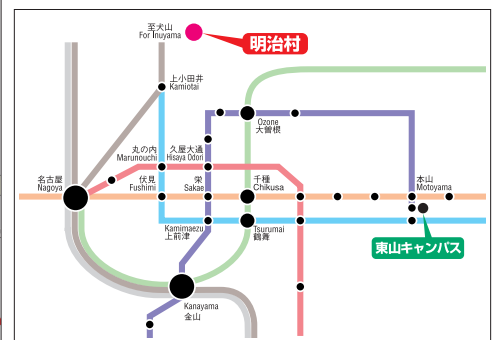
旧名城キャンパス当時の文学部三号館
(後の建物)



明治村旧歩兵第六聯隊兵舎
(旧文学部三号館)



旧名城キャンパス



明治村

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物等に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室(052-789-2046、nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp)へご連絡下さい。